

さいたま市立大谷場中学校 各教科の内容と評価観点 [技術・家庭（家庭分野）]

教科の目標	○健康的で自主的な生活を送るために自ら課題をもって意欲的に学習する態度を身につける。 ○生活の向上と自分の技術の向上のために工夫する力や創造する力を身につける。 ○情報や技術を習得し、それを活用する力を身につける。 ○安全に気をつけて学習する力を身につける。
-------	---

1 年	項目	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	観点	課題解決のために 身につけたい知識・技能	自ら思考判断し工夫し 表現しようとする力	授業で身につけた基礎的な知識・技能を活用し た問題解決の工夫
	評価の重点	・生活の課題に関する基礎的、基本的な技能や技術の習得 ・生活に関する事柄や技能などについての基礎的な知識の習得	・いろいろな解決方法の探求 ・問題解決における自己の創意工夫ある取り組みやその過程表現 ・基礎的基本的な知識や技能、情報を活用、応用する力	・自らの学習を調整しようとしているか粘り強く学習しようとする態度 ・工夫した課題設定や習得した知識や技能を活用した問題解決に向けた思考力・判断力・表現力をつかった積極的な取り組み

	単元・教材・題材 等	学習目標・学習内容・学習活動 等	評価の方法
1 学 期	1、自立を目指して学ぼう ・自分の成長と家族 ・家庭のはたらき 2、住生活と自立 ・住まいのはたらき ・健康で安全な住まい ・住まいの手入れと環境整備（掃除の計画と実践） 3、衣生活と自立 ・生活に役立つ衣生活の工夫	○家族との生活の中にそれぞれの立場や関係を見つめ、毎日の生活を、よりよく快適にする方法を考え実践することができる。 ○役割や支えあうことの意味を考え、自ら工夫する能力を養うとともに、生活の技能を高めることができるようにする。 ○布地の取り扱い方法を知り、それに応じた洗濯方法や手入れの方法を知り、管理や手入れの方法を選択することができる。	○授業観察（発表、発言、質問の内容） ○学習プリントの記述・まとめ方の工夫 ○家庭での宿題、実践レポートの内容 ○学習記録表への取り組み ○定期テスト

2 学 期	3、衣生活と自立 ・生活に役立つ小物の製作 ・衣生活・実践レポート 計画と実践	○被服材料や裁縫道具の名称や扱い方を理解し、それを活用し、工夫してものづくりを行うことができる。 ○学習したことを家庭で生かすことができる	○作品の完成と提出 ○創意工夫ある製作 ○材料や道具を上手に活用する製作技能 ○家庭で行う実践課題レポートの内容 ○学習記録表への取り組み ○定期テスト
3 学 期	食生活の自立に向けて ・健康と食生活 ・栄養のはたらき	○自分の食生活を振り返り、青少年期の健康で成長のために必要な栄養や食事の仕方を学び、理解する。毎日の食生活をよりよく快適なものに整えたり、選択して食べることの意味を考え、自ら工夫する能力を養うとともに、調理の技能を高めることができるようにする。	○課題への意欲的な取り組み ○授業観察 (発表、発言、質問の内容) ○学習プリントの記述・まとめ方の工夫